



附属図書館長 加藤憲二教授

私たちの目指す教育の在り方は「自由に学ぶ」、その上で「質を上げていく」ことです。そこで図書館として何が出来るかを考えました。結論は、図書館をオープンな学びの空間にする＝共に議論し、問題を共有できる場所に変えていくことでした。そのためにラウンジやグループ討論できる場所を整備するとともに、世界的な潮流となった「情報の電子化」に対応しています。「静岡新聞データベースplus日経テレコン」の導入はその一環です。

静岡新聞の記事は自分がいるところを知った上で他の事象について考えるためにも欠かせません。日本経済新聞は就職活動をする際に押さえておくべき情報源とされています。社会的責任のある新聞社の情報であることが重要です。月間で2万～4万のアクセスがあります。



・大型ディスプレイでデータベースを活用する加藤館長

学問の府で役に立つ vol.15

静岡大学

新聞記事検索システムの活用事例

情報学部情報科学科3年 平尾元紀さん

私の専門はCS(コンピューター・サイエンス)プログラムです。実験でCPU(中央演算装置)をつくったり、最新のプログラム言語を研究するなど、時代の先を行く挑戦をしています。

先日、静岡新聞データベースplus日経テレコンで日本人が開発したプログラム言語「Ruby」について検索しました。“意外なほど”多くの関連記事



・附属図書館 浜松分館で記事検索をする平尾さん



が出てきて驚きました。どの技術がどのような場面で用いられたのかなど、開発の歴史を確かめるのに大いに役に立ちました。社会の動きに目を向ける必要もあるので、研究につながるニュースをつかむ時にも活用していきたいと思います。

大学院工学研究科 機械工学専攻1年 田中弘志さん

私は大学院で機械加工、特にドリルを用いた深穴加工の研究をしています。加工が難しいステンレス鋼のような素材やクランクシャフトのような複雑な形状の部品に対して、精密で効率的に深い穴をあけるための手法の開発です。

研究に直接関わる情報は文献データベースで調べることが多いのですが、静岡新聞データベースplus日経テレコンで検索すると、**機械加工が社会でどのように取り上げられているかを知ることができ、参考になります。**また、静岡新聞と日本経済新聞を同時に検索できるので、読み比べると意外な発見があるとも感じます。

静岡新聞

私たちの大学
Our university



伊東幸宏 静岡大学長

自由啓発・未来創成

静岡大学は、「自由啓発・未来創成」をビジョンとし、学生の主体性を重んじる教育方針をとっています。自分で課題を見つけ、いろいろなことに主体的に、積極的にチャレンジする学生を育てています。多様な背景や価値観を認め、総合大学のよさを生かした教育をすすめています。こうした学生の学びを支えるには、図書館やオンラインデータベースが欠かせないと思います。

【当サービスのご利用について】静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。【利用料金】サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額基本料金のほかご契約プランによっては、検索・出力した利用に応じた情報利用料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187 (平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

<http://www3.shizushin.com/dbplus/>